

Jam at BASIE

featuring
Hank Jones

ジャズ喫茶ベイシー前
photo by
Shoji Sugawara

ハンク×SWIFTY88による奇跡の名演。 高品位CD・クリスタルディスクで登場!

これがプロデュース・ユニット“SWIFTY88”（ジャズ喫茶ベイシー店主・菅原正二&音楽プロデューサー伊藤八十八）の選択だった。
国内では入手困難なアンベックス456テープ・2トラック（ハーフ・インチ）+ドルビーSRを採用したアナログ・レコーディングを敢行。
クリスタルディスクだけが約束する“結晶体”がここに誕生する。

Personnel : Hank Jones(piano), David Wong(bass),
Lee Pearson(drums), Raymond McMorris(tenor sax)
Recorded at jazz spot BASIE on August 14th & 15th, 2009
Produced by "SWIFTY88" : Shoji Sugawara × Yasohachi Itoh
Manufactured by Memory-Tech Corporation
Released by menkoi enterprise

CRYSTALDISK

「クリスタルディスク」は従来のCDがプラスチック製であるのに対し、高級レンズと同じ超精度光学ガラスを強化したものを使用、想像を超えた高音質の世界を通常のCDプレーヤーやカーオーディオでお楽しみいただける「究極のCD」と呼ぶにふさわしいニューメディアです。


製造元:メモリーテック株式会社

半永久保存盤“クリスタルが封印した音の結晶”、約束された名盤が今ここに!

予約受付中!

販売価格50,000円(消費税込)
製品番号 SWIFTY88-A001
販売元:株式会社めんこいエンタープライズ

詳しくは裏面をご覧ください。

produced by
SWIFTY88
LIVE AT BASIE PROJECT

supported by
JBL

Jam at BASIE

featuring **Hank Jones**

Jam at Basie featuring Hank Jones のレコーディングを終えて

プロデューサー 伊藤八十八

ジャズ喫茶「ベイシー」の40周年記念企画「Jam at Basie」は、ある「提案」から始まった。ライブ・レコーディングをして、究極のソフトである光学ガラス製の高音質CD、クリスタルディスクで制作して欲しい。めんこいエンタープライズとメモリーテック社からの要請だった。アーティストは、今年の7月31日に91歳の誕生日を迎えた、現役最長老ジャズ・ピアニストのハンク・ジョーンズ。そのマジック・タッチともいわれる繊細かつダイナミックなピアノ・サウンドをいかに生々しく録音できるか。この大命題の「鍵」はたった一つ。アナログ・発録音しかない直感的に閃いた。まず、現在入手困難なAmpex 456のハーフ・インチ・アナログ・テープを探るところから始めた。やっとのことできき集めた16本をソニー・ミュージック・スタジオで事前に品質チェック。Studer A-820のテープ・レコーダー2台とDolby SR等と共にレコーディング・モービル (Neveコンソール33609搭載) に持ち込んだ。準備万端整えて、いざ一閃へ。

そして迎えた本番初日、8月14日。予想をはるかに超える観客を前に、熱い演奏が繰り広げられた。ハンクの流れるようなピアノ・プレイと時折見せる攻撃的なフレーズ。デイヴィッド・ウォンのステディに繰り出すベース・ビートと絡み合うリー・ピアソンのダイナミック・ドラミング。豪放なマックモーリンのサクソ・ブロー。アナログ録音ならではの存在感に鳥肌が立つ。この大舞台のエンジニアには、ベテラン鈴木良博を起用。2日目、8月15日はアンプをやや上手よりに移動。ベースの音抜けを良くする為だ。「ベイシー」の菅原正二さんと相談しながら、スネアのピッチを少し上げ、フロア・タムとバス・ドラムのピッチを下げてみた。これだ！この絶妙のバランス。こうして、2日間4ステージのセッションは、40周年を迎えた「ベイシー」に相応しい熱いシーンとなった。

今、その興奮の余韻の中、収録曲選定のため音源を聞き直しているところであるが、どの曲を入れるか、否、どの曲を外すか、迷っている。まもなく編集、マスタリングを終えて生産体制に。歴史的名演を最高のソフト、クリスタルCDで再演。乞うご期待！



88×HANK



SWIFTY88×HANK

photo by Shin Matsumoto

